

① 子規選句稿「なじみ集」

- 1 種 別 有形文化財（歴史資料）
- 2 名 称 子規選句稿「なじみ集」
- 3 指定基準 イ 歴史上重要な人物に関する遺品のうち学術的価値の高いもの
- 4 所在地 松山市道後公園 1-30 松山市立子規記念博物館
- 5 所有者 【氏 名】 松山市  
【住 所】 松山市二番町 4 丁目 7 番地 2
- 6 特 徴 【員 数】 1 点  
【寸 法】 縦 248 mm×横 167 mm×厚さ 48 mm  
【年 代】 未詳（明治 28 年までに成立か）
- 7 指定説明 正岡子規が自分に「馴染み」のある人物の俳句を、選んで筆記したもの。明治 28 年までに成立したと考えられる。全 339 丁（本文 674 頁）。子規を含めた 98 名に無名・失名の俳句を加えた 4,000 句以上を収録している。本資料から子規の新出句 5 句（異形句を含む）が発見された。

子規の豊かな俳句人脈や俳句研究への熱意を示す資料として重要であるばかりでなく、近代俳句の黎明期における新派・旧派を含めた諸俳人の実作を広く集成したものとして、質・量ともに群を抜く貴重な資料である。

8 写 真



② 子規歌稿「竹乃里歌」

- 1 種 別 有形文化財（歴史資料）
- 2 名 称 子規歌稿「竹乃里歌」
- 3 指定基準 イ 歴史上重要な人物に関する遺品のうち学術的価値の高いもの
- 4 所 在 地 松山市道後公園 1-30 松山市立子規記念博物館
- 5 所 有 者 【氏 名】 松山市  
【住 所】 松山市二番町 4 丁目 7 番地 2
- 6 特 徴 【員 数】 1 点  
【寸 法】 縦 250 mm×横 170 mm×厚さ 33 mm  
【年 代】 未詳
- 7 指定説明 正岡子規が明治 15 年から同 33 年までに作った短歌・長歌・旋頭歌・新体詩・端唄を年代順に記した歌稿。「くれなみの二尺伸びたる薔薇の芽の針やはらかに春雨のふる」「久方のアメリカ人のはじめにしベースボールは見れど飽かぬかも」などの有名な短歌をはじめとする、計 1,949 作を収録している。

少年時代から晩年に至るまでの子規の歌の発展過程を物語る自筆資料であり、明治期における近代短歌の成立史を子規の短歌革新の面から考察してゆく上で、大変重要な資料である。

8 写 真



### ③子規画「玩具帖」

- 1 種 別 有形文化財（絵画）
- 2 名 称 子規画「玩具帖」
- 3 指定基準 エ 特殊な作者，流派等を代表するもの
- 4 所在地 松山市道後公園 1-30 松山市立子規記念博物館
- 5 所有者 【氏 名】 松山市  
【住 所】 松山市二番町 4 丁目 7 番地 2
- 6 特 徴 【員 数】 1 点  
【寸 法】 [本紙] 縦 198 mm×横 170 mm [全体] 縦 268 mm×横 238 mm×厚さ 32 mm  
【年 代】 明治 35 年 8 月～9 月
- 7 指定説明 正岡子規が、身の回りの玩具を描いたもの。全 4 枚の絵画（「紙人形」・「酉ノ市ノ於多福」・魚釣り玩具・未完成図）からなり、いずれも子規の死の直前である明治 35 年 8 月から 9 月にかけての作品である。子規の死後、正岡忠三郎（子規の妹・律の養子）が 1 冊の折本に仕立てた。  
子規の絵画作品の中でも最晩年のものであり、闘病生活を送りながら文学活動に邁進した子規の晩年の境地を示す、重要な資料である。

### 8 写 真

